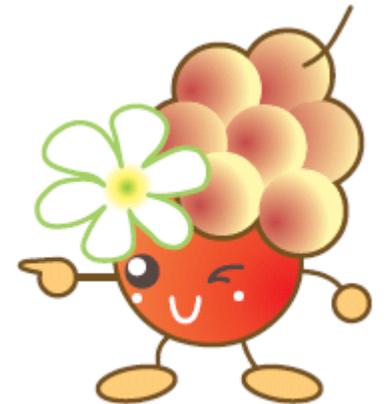


# 「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」の実現

## 東淀川区将来ビジョン(案) 2022～2026



令和4(2022)年3月 東淀川区役所

東淀川区キャラクター  
「こぶしのみのりちゃん」

# もくじ

---

1	東淀川区将来ビジョンについて	・ ・ ・ 1
2	東淀川区の概要	・ ・ ・ 2
3	東淀川区の現状と課題	・ ・ ・ 3
4	めざす将来像	・ ・ ・ 4
【参考】	東淀川区の基本的な情報	・ ・ ・ 10

# 東淀川区将来ビジョンについて

## ○将来ビジョンとは？

区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、区のめざすべき将来像、将来像の実現に向けた施策展開の方向性等をとりまとめ、区民の方々に明らかにするものです。

東淀川区では2018年に策定したビジョンを踏まえ、それらの施策をさらに前進させるため、2022年度から5年後のめざす将来像と取組の方向性についてとりまとめ、今後、このビジョンに沿って、「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」の実現に向けて、区民の皆様とともに、区役所職員一丸となって取り組んでまいります。

## ○計画期間

2022年から2026年

将来ビジョン

2022- 2026

運営方針

2022

2023

2024

2025

2026

将来ビジョンの単年度アクションプランとして、運営方針を毎年策定します。



東淀川区長 西山 忠邦

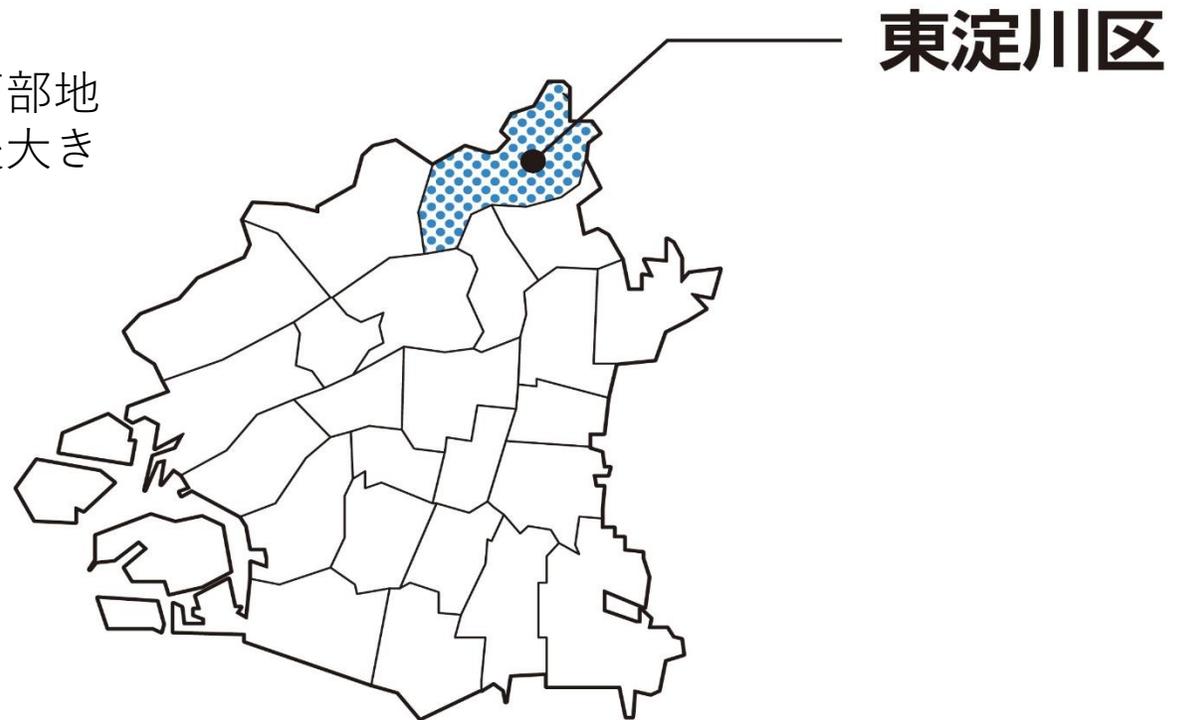
# 東淀川区の概要

---

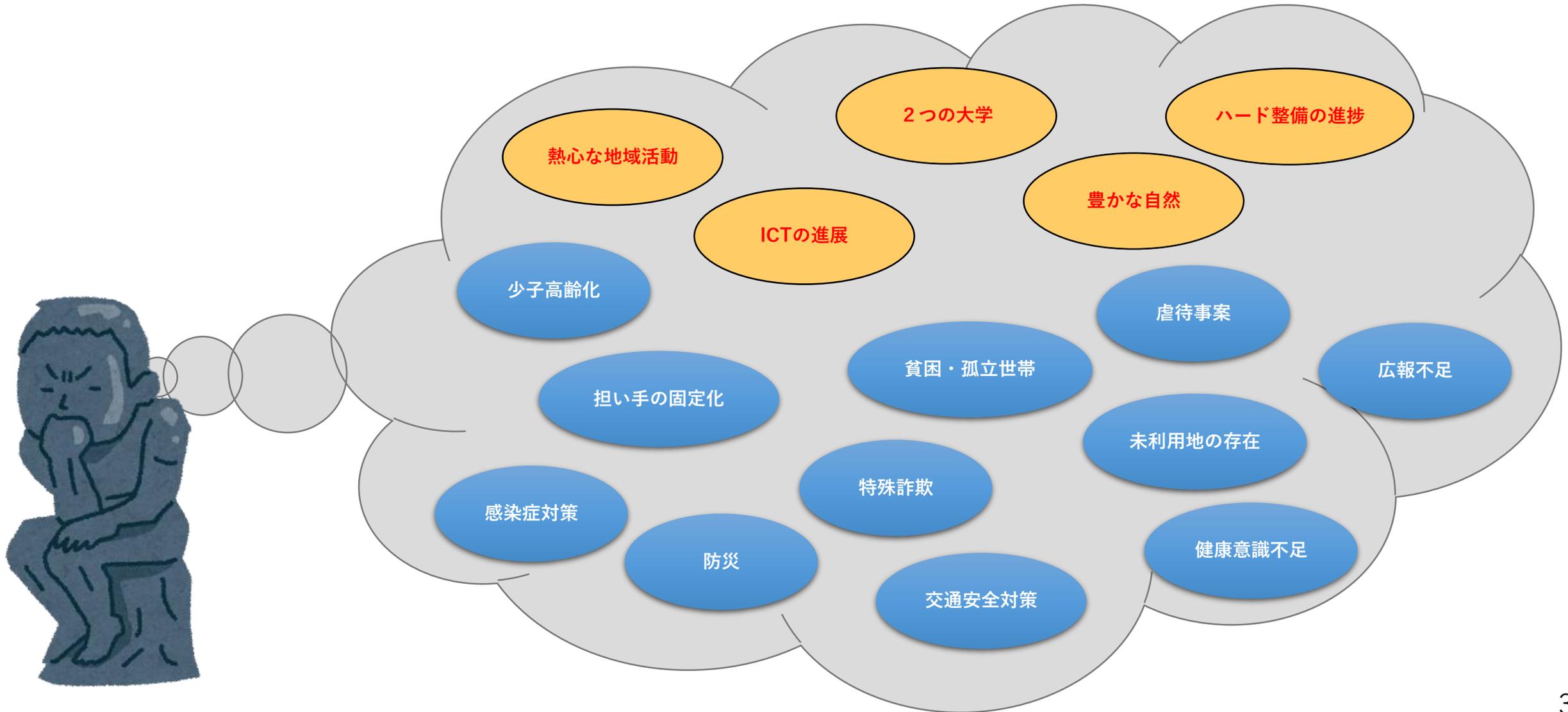
東淀川区は、大阪市の最北端に位置し、淀川・神崎川・安威川の大きな河川に囲まれ、吹田・摂津・守口の3市に隣接しています。

かつての農村地帯から、現在では市内で人口が3番目に多い区へと発展し、2025年4月には区政100周年を迎えます。

交通の便がよい住みやすいまちであり、現在区西部地域を中心に大規模な都市基盤整備が進められ、今後大きく変化していくまちでもあります。



# 東淀川区の現状と課題



# めざす将来像



## 「住んでよかった、住み続けたい東淀川区」の実現

### ～区民をつなぎ、区民とつながる～

複雑化、多様化、深刻化している東淀川区の課題に対処するためには、さらなる「つながり」が重要です。

感染症予防対策に留意したうえで、地域での区民と区民の「つながり」をより一層促進し、区役所と区民との「つながり」も充実させながら、次のまちづくりを進めます。

- 自助・共助を担う地域力と、にぎわいのある元気なまち
- こども・青少年の健全育成に地域が一体となって取り組んでいるまち
- 福祉と健康にみんなで取り組むまち
- 安全・安心のまち
- 区民の役に立つ区役所があるまち

# 1. 自助・共助を担う地域力と、にぎわいのある元気なまち



## めざす状態

- 新しい生活様式を取り入れながら、幅広い世代が気軽に集う機会・場所があり、住民が主体となって地域課題の解決を目指す取組が継続されている。
- 区全体のにぎわいや魅力発掘・向上のため、区内外の人の交流が促進され、多様な主体が連携できている。



## 今後5年間の施策の方向性

- 地域住民等に対し、地域活動協議会活動をはじめとした、多様な地域活動への参画を促すために必要な情報の提供・発信を積極的に行い、コミュニティビジネスの活用に向けた支援を行うとともに、新たな担い手の発掘・気軽に人が集える居場所づくり等への支援を通して、地域活動協議会による自律した地域運営と、多様な主体による、各地域での活動の活性化をめざす。
- コロナ禍の経験を活かしながら、ICTを積極的に活用し、オンラインでつながる場・リアルにつながる場を効果的に設定することで、地域・企業・大学をはじめとする各種の教育機関・区内行政機関等の多様な主体が連携して、まちの素晴らしさを伝えたり、新たなまちの魅力を発見、さらには創造し、発信することなどを通じて、区内外の人の交流を促進し、まちへの愛着心を育むとともに日常から協力し合える仕組みを構築し、地域力の向上とにぎわいのある元気なまちをめざす。
- 自然を身近に感じられる貴重な環境、地下鉄今里筋線やJRおおさか東線などの鉄道網の充実・交通の要衝としてさらに発展する可能性、2つの大学の発展によりさらなる文教化への期待や都市基盤整備の進捗など、区内に存在する多様な将来性に合わせ、民間活力を最大限に生かした未利用地の活用を行うなど、地域との共生・にぎわいと交流を促進し「住んでよかった、住み続けたいまち東淀川区」の実現とともに「行ってみたい、また訪れたい」と思っていただけのまちをめざす。

## 2.こども・青少年の健全育成に地域が一体となって取り組んでいるまち



### めざす状態

- 東淀川区版ネウボラが広く定着し、安心してこどもを生き喜びを感じながら子育てができるように妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援が整備されている。
- 地域全体がこどもや青少年の健全育成に高い意識を持ち、こどもたちが地域の人々のつながりの中で支えられるよう、啓発活動や巡視や見守り活動を行い、関係機関が連携して支援を行う体制ができている。
- すべてのこどもたちが安全・安心な環境で育ち、社会の一員として自立できるよう、こどもや青少年、子育て家庭が抱えるさまざまな不安や課題に柔軟かつ着実に解決を図るために必要な情報と仕組みが確立している。
- 心身ともに健全な成長を促進する取組、自尊感情を向上させ、全てのこどもが「生きる力」を身に付けることができる仕組みが整っている。
- 次世代を担うこどもが、夢や希望をもって未来を切り拓き、いきいきと自立して生きることができるとともに環境が整っている。

### 今後5年間の施策の方向性

- サービスが必要なこどもや養育者に対して、きめ細かいフォロー体制を整備し、母子保健事業の活用や地域担当保健師のアウトリーチ・電話相談等でそれぞれのニーズに応じた必要な支援が切れ目なく受けられる体制を構築する。
- こどもたちを健やかにはぐくみ、子育て家庭を支えるため、地域のつながりを一層強め、家庭や学校をはじめ、地域や企業など、社会総がかりでの取組を推進する。
- ICTを活用した施策の拡大に取り組む。
- こどもが「生きる力」を身につけるために大切な自尊感情を醸成し、確かな学力、健やかな体の育成に向けて、教育環境や読書環境の充実を図るとともに、心身ともに健全な成長を促進する取組などの施策を推進する。

